

## 新正会員代表挨拶



### 姫島 卓弥

特許審査第二部 福祉・サービス機器

ただいまご紹介にあずかりました、姫島卓弥と申します。僭越ではございますが、平成23年度入庁採用者38名を代表してご挨拶申し上げます。

はじめに、ご来賓の皆様方には、ご多忙の中ご出席頂き、たくさんの励ましの言葉をかけて下さいましたことを厚くお礼申し上げます。また、これまでの研修でご指導下さいました講師の先生方、並びに、日頃からお世話になっております指導審査官や先輩の皆様には、この場を借りてお礼申し上げます。

私たちは今年の4月に、社会人としての一步を踏み出し

ました。これまでと一変した環境に戸惑いながらも、この7ヶ月の間、多くのことを教えて頂き、自分の世界が広がっていく喜びを感じながら、研修に励んで参りました。

まず、審査官補コース研修では、特許法や意匠法等の法律をはじめ、審査業務についての基礎や、知的財産を巡る国内及び国際情勢や、その中で我が特許庁が果たすべき役割を学びました。更には、企業の知財部の方や弁理士の方からもお話を聞かせて頂き、実際の社会での知的財産権の役割についても知ることが出来ました。そして、その後の実務研修においては、特許審査の奥深さ、難しさを実感するとともに、特許権という強力な権利を与えるかどうかを判断することの責任の大きさや、迅速且つ的確な審査の必要性を改めて認識いたしました。このような研修を経て、7月1日に審査官補に昇任し、より本格的な審査業務に携わることとなり、これまで教えていただいたことを十分に活用し、さらなる研鑽を積んでいる次第です。

さて、今年の3月、東日本大震災が発生し、日本経済全体に大きなショックをもたらしました。しかし、知的財産推進計画2011で述べられているように、日本はこれまでも大きな危機に直面して、その都度立ち上がってきました。日本の未来へ向けた創造的復興において、知的財産も大きな役割を果たすことを心に留め、知的財産権政策の中核を担う特許庁の一員として日々の業務に真摯に取り組みたいと思います。

まだまだ未熟な私達ですが、初心を忘れることなく、互いに切磋琢磨し、一日も早く一人前の審査官になれるよう努力していく所存であります。これからもどうぞご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

本日は誠にありがとうございました。



平成23年度特許懇親会